

環境への負荷が少ない商品・サービスの優先的購入を進める地域ネットワーク

GPN Green Purchasing Network

CONTENTS

- | | |
|--|--|
| ■「環境ラベルは目に見える情報源～その種類と意義～」
第2回グリーン購入セミナー(2003年10月10日)講演より..... 1 | ■エコ情報室「『食のグリーン購入』で 安全・安心・健康
プラス 環境に配慮した買い物を!」 6 |
| ■「第2回グリーン購入セミナー」開催報告 2 | ■エコに学べ! 7 |
| ■REPORT1／エコプロダクツ・シンポジウム
REPORT2／グリーン購入キャンペーン
REPORT3／グリーン購入フォーラム 3 | 美濃屋紙店 荒川一雄さん 8 |
| ■「びわ湖環境ビジネスメッセ2003」出展報告 4 | ■リレートーク 8 |
| | 「長浜キヤノンのグリーン調達」 8 |
| | ■会員発エコ商品情報 8 |

「環境ラベルは目に見える情報源～その種類と意義～」

第2回グリーン購入セミナー(2003年10月10日)講演より

講演者

環境省
総合環境政策局
環境経済課課長補佐
田中 稔氏



■環境ラベルとは

環境ラベルとは、製品やサービスの環境側面について、製品や包装ラベル等に表示された文言、シンボルまたは図形・図表を通じて購入者に伝達するものです。単にマークやラベルなどの物理的な形態を表しているではありません。環境関連の情報を購買者に伝達し、環境に配慮した購買活動に役立てるためのシステムとか制度だと思ってください。

■ISOにおける環境ラベルの分類

第三者認証による環境ラベルである**タイプI**、事業者の自己宣言による**タイプII**、製品の環境負荷の定量的データを表示する**タイプIII**の3つがあります。

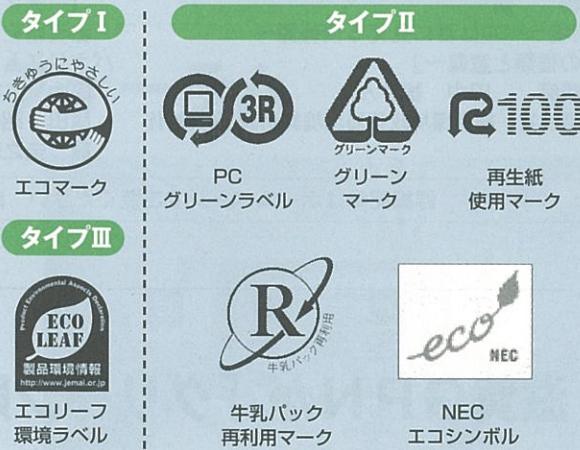
わが国唯一のタイプI環境ラベルがエコマークで、日本環境協会が運営しています。利害関係のない第三者が認証するので信頼性が高く、マークで表示するので環境配慮型商品だとわかりやすいのが特徴です。

タイプIIは事業者の自己宣言による環境ラベルです。製品における環境改善をラベルにより主張するもので、団体・組織(業界)によって定められたものと企業によって定められたものがあります。

一方、タイプIII環境ラベルは製品の環境負荷の定量的データを表示するもので、共通の方法による詳細なデータ

が示されています。科学的定量的データで信頼性も高い、エコリーフ環境ラベルがこれに当たります。

ISOにおける環境ラベルの分類



適合表示マーク



識別表示マーク



※掲載したラベルは一例です。

→ 次ページに続く

■適合表示マーク

環境に配慮した特性を取り上げて優れたと認める基準を作り、それを達成したという意味を表現しているラベルで、グレードを識別できるものもあります。環境配慮を達成した商品を推奨するという意味を持っています。

■識別表示マーク

資源有効利用促進法に基づいて表示される、分別回収を促進するためのマークです。

この法律で指定表示商品については、消費者が容易に分別できるよう材質や成分その他分別回収に必要な事項を、マーク等の決められた様式で表示することが義務付けられています。個々の物品、サービスの環境負荷情報を表すマークではありません。

■環境負荷の少ない社会を実現するために

事業者は環境に配慮した商品を、ただ一方的に提供していくべきよいというものではありません。消費者が環境負荷の少ない商品を正しく選択して、優先的に購入することができるようにしてあげなければならない。そうしなければ、環境に配慮した商品が市場で継続的に発展していきません。企業は充分な情報を開示していくなければならない。その手段のひとつとして「環境ラベル」があるのです。

そして消費者は、商品を選択する際に「環境ラベル」を参考にしてください。それを見て意味がわからない場合、ぜひ疑問や意見を言ってください。そうすることで、ラベルの表示方法や内容の改善にもつながります。

供給者である事業者と消費者とをコミュニケーションで結ぶ環境ラベルは、有効に活用することにより、環境配慮型の製品を市場に普及促進していく制度です。ぜひ、有効に利用してください。

「第2回グリーン購入セミナー」開催報告

◆日時：2003年10月10日
午後1:30～4:00

◆場所：滋賀県農業教育
情報センター（大津市）

◆参加者：81名

◆内 容

●講 演

「環境ラベルは目に見える情報源～
その種類と意義～」

講師 田中 稔さん

環境省 総合環境政策局環境経済課 課長補佐

●事例紹介「環境ラベル表示商品」

コクヨ近畿販売、田中建材、
ダイキン工業、日本電気、関西電力、
滋賀県環境こだわり農業課

●パネルディスカッション

「事業者と消費者を結ぶ環境ラベル」
コーディネーター 土屋正春さん
滋賀県立大学 環境科学部 学部長・教授
パネリスト

田中 稔さん 環境省 総合環境政策局環境経済課 課長補佐
尾田 昭代さん びわ湖会議 運営委員
龍 圭之輔さん 滋賀県小売店環境保全連絡会会長



詳細記録はホームページでご覧ください <http://www.shigagpn.gr.jp/katudo/ind-katudo-2.html>

T O P I C S**滋賀GPNが「グリーン購入大賞」を受賞しました！**

全国初の地域ネットワークとして活動を進めてきた滋賀GPN。皆様のご協力のもと、地域に根ざした地道な活動を進めてまいりました。

そしてこの度、「第6回グリーン購入大賞」の民間団体部門「大賞」を受賞させていただきました。

書類選考後の本審査会では、関西NECの三好君雄さんに発表を担当していただき、授賞式には、たねやの額田隆義さんも出席していただきました。

また、授賞発表を兼ねた全国フォーラムでは、平和堂の西塚哲夫さんが滋賀GPNの活動を全国のGPN会員に向けて発表してくださいました。

皆様のご支援、ご協力、本当にありがとうございました。

グリーン購入フォーラム2003

第6回グリーン購入大賞 表彰式

主催 グリーン購入ネットワーク(GPN)

GPN

グリーン購入フォーラム

滋賀GPN

滋賀G

「びわ湖環境ビジネスメッセ2003」出展報告

2003年11月5~7日 於：県立長浜ドーム

グリーン購入の普及を目的に、滋賀GPNとして「グリーンなオフィス」風景を展示しました。
出展・スタッフ協力ならびにご来場ありがとうございました！

昨年5月に開催した当ネットワークの2003年度総会において、講演をお願いした東京大学 山本良一教授（GPN顧問）は「ファクター4」についても説かれました。持続可能な発展を実現するために、環境負荷や資源消費を半分にし、製品・サービスの価値を2倍にすることを目指す「ファクター4」。今年6回目となるメッセは、この「ファクター4」をテーマに開催され、3日間で37,790人が来場されました。

出展協力



(株) 滋賀ウチダ
取締役営業本部長 井上 喜治郎さん

滋賀ウチダが環境に取り組んでいる事を多くの方に知っていただく機会となった事を、大変嬉しく思っております。今後もISO14001認証取得企業として環境理念に基づき、滋賀県の地域販売会社の立場から社員一人ひとりが環境保全活動に取り組み、地元経済の発展と環境の調和に貢献してまいります。



小林事務機（株）
取締役営業推進部長 和田 隆さん

オフィスで使用する印刷機、「3つのR」でムダをなくしリサイクル率80%を達成している環境保全対応プリンター「リソグラフRE」シリーズを展示させていただきました。今後も、更なる環境商品の提案販売に努めてまいります。



(有) 長浜ユニフォーム
代表取締役 古田 敏之さん

多くの来場者があり、有意義な展示会でした。弊社は作業服全般を取り扱っておりますので、再生ペットボトル使用の制服を展示させていただきました。来場された方から、「制服を新調するなら、エコマークのリサイクル品だね。」というようなお声を多数いただきました。ありがとうございました。



(株) 宮川商店
専務取締役 宮川 裕路さん

印刷した用紙を、何度も消せて紙をリユースできる「消せるトナー e-b l u e」を出展させて戴きました。関西地区初の展示と言う事で、びわ湖放送様にも取材戴き、多くの皆様に大変な反響を戴きました。出展のチャンスを与えて戴きました皆様に感謝いたします。



メッセ及び協賛セミナースタッフ協力団体
写真化学、塩野義製薬、ゼネラル、ジャパンビバレッジ、大津板紙、コープ滋賀、宮川印刷、滋賀ウチダ、宮川商店、小林事務機、長浜ユニフォーム、滋賀県立大学グリーンコンシューマーサークル、N E C関西、昭和電工、ダイキン、新江州、関西電力、たねや、平和堂、彦根市、永源寺町、新旭町、淡海環境保全財団、滋賀県（順不同・敬称略）

スタッフとして協力

永源寺町役場 総務課 小倉 弘実さん

今回初めてメッセに参加させていただきました。多くの企業・団体で地球を守るための取り組みを進めておられ、新しい技術がどんどん開発されていることに驚くとともに、このような取り組みをもっと多くの人に知っていただきたいと思いました。また、「地球を守る」という義務を果たしてゆくためにも、「グリーン購入」の視点をもった活動が大切だと改めて感じました。当日は、他のスタッフの方から色々な事を教えていただく機会となり、楽しく参加させていただきました。ありがとうございました。



(株) 写真化学 管理部 中田政博さん
実は普段、なかなか滋賀GPNの活動には参加できていなかったのですが、今回大胆にもスタッフ参加させていただきました。来場者の方から「グリーン購入」やクイズの答について聞かれたら、答えられるのか？ブースに立ちながらそんな不安もありましたが、結構スタッフの皆さんと楽しく過ごせました。



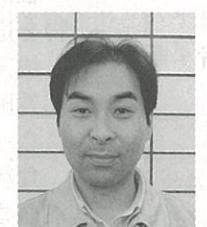
「グリーン購入自己診断システム」の体验コーナー

ENVIRO-SHIGA 2003

6th Shiga International Environmental Business Exhibition



(株) 田中誠文堂
川端 常和さん



美濃屋紙店
荒川 一雄さん



ウッドワーク滋賀
堤木工所 堤 恭之 (たかし) さん

滋賀県産間伐材で製作した丸テーブルと椅子を出展させていただきました。家族経営の弊店では、メッセへの出展は難点も多く不可能と思っていたものの、今回の滋賀GPNブースへの出展で多くの意見を聞かせて戴きました、感謝しております。



メッセ協賛 第3回グリーン購入セミナー開催

■日 時：2003年11月7日（金）13:30～15:30

■場 所：長浜ドーム宿泊研修館

■参 加 者：88名

■内 容：

<事例発表>清川メック工業（株）専務取締役 清川 肇氏
滋賀ダイハツ販売（株）代表取締役 後藤 敬一氏
田中建材（株）専務取締役 田中 稔氏
「グリーン購入自己診断システム」グリーン購入評価手法研究会

<パネルディスカッション>

「グリーン購入から始める環境経営」

コーディネーター：

滋賀県立大学環境科学部学部長・教授 土屋 正春氏

パネリスト：事例発表者

第1回日本環境経営大賞の優秀賞を受賞された清川メック工業様を福井県からお招きし、先進事例を学ばせていただきました。

エコ情報室

滋賀グリーン購入ネットワーク 食のグリーン購入研究会

額田隆義

「食のグリーン購入」で安全・安心・健康 プラス 環境に配慮した買い物を!

滋賀県では2001年（平成13年）から「環境こだわり農産物」の認証制度が始まり、スーパーなどの店頭で認証マークの付いたお米や野菜を目にされた方もいらっしゃると思います。

昨年4月「環境こだわり農業推進条例」が施行されたのを受けて、12月には「環境こだわり農業推進基本計画」が公表されていますので、それぞれの概略をご紹介します。

「環境こだわり農産物」認証制度

- ①化学合成農薬および化学肥料の使用量を通常の5割以下に削減し、濁水の流出防止など琵琶湖と周辺環境への負荷を削減する技術で生産された農産物を県が認証する。
- ②品種ごとの管理（いつ、どんな資材を、どれだけ使ったか）を記帳し、求めがあれば公開する。
- ③認証シールを貼り、栽培責任者、連絡先を明示して販売。



「環境こだわり農業推進条例」

- ①環境こだわり農業の推進に関する、県・農業者・販売業者などの責務と消費者の役割を明示。
- ②農業者が環境こだわり農業を進めるために県が営農技術指針を策定。
- ③「環境こだわり農産物認証制度」の位置づけ。
- ④農業者と県知事が協定を結び、県はその実施のために必要とされる経済的助成などの支援を行う。

「環境こだわり農業推進基本計画」

期間：平成15年度から平成19年度までの5年間
テーマ：“人と農産物と琵琶湖のいい関係づくり”

・基本方針1

自然環境と調和の取れた農業生産が滋賀県農業のスタンダードとなるよう推進する。

・基本方針2

環境こだわり農産物を滋賀ブランドとして確立する。

・基本方針3

生産者と消費者を結ぶ食のグリーン購入を展開し、県民みんなが支える環境こだわり農業を確立する。また、平成19年度を目標年度として、化学合成農薬・化学肥料の使用量の15%削減、環境こだわり農産物の購入経験者の率を33%にまで増やすことなどが、目標として掲げられています。

環境に配慮した農業を支援するために

現在の「環境こだわり農産物」の取り組み面積は、県全体の作付面積のわずか2.4%にしかなりません。



エコに学べ！ ● 美濃屋紙店 荒川 一雄さん

■環境に取り組むきっかけ

私どもは彦根にある創業83年の文具・事務用品店です。5年前の春、滋賀県立大学に新入学されたある学生さんが私どもの店に来られました。話を聞くと、小学校の新一年生にエコ文具を使ってもらうために、エコ文具の一覧を作り、校門の前で配布したいとのことでした。これに感銘し協力させていただいたのがきっかけとなり、環境について取り組むようになりました。

■グリーン購入の取り組み

行政や企業・団体などが率先して環境負荷の低減につながる物品を購入し、この取り組みを広げていくことは、国全体で環境物品への需要を促し、環境社会の発展につながるものと考えられます。そのような中で私どもは、販売店としてオフィスでの環境物品の調達の重要性をお伝えし、環境物品等について適切な情報提供することが重要ではないかと考えております。

グリーン購入法の特定調達品目には、紙・文具・事務機器・オフィス家具等、私どもが取り扱っております物品が大半を占めています。そういう意味でも、私どもが担う役割の重要性を痛感いたしております。

私どもではこのような地球にやさ

■地球にやさしく、人にやさしい商品

オフィスでのグリーン購入においては、再生材料を部材にした商品、詰め替え可能なロングユース商品、使用後の分別廃棄が可能な商品などを提案して参りました。

最近、そのような環境に配慮した商品の付加機能として、人にやさしい機能を持つ商品が注目を浴びております。できる限り多くの人に快適・安全に使っていただけるように、簡単・軽快な操作性、使いやすいデザインをコンセプトに開発された商品です。いわゆる「ユニバーサルデザイン」という概念です。一例をご紹介しますと、ラッピングというステーブラーは再生材料使用、分別廃棄ができる、とじる時の力を50%軽減、しかもお手軽価格という優れモノです。店頭で実際に手にとってお確かめいただけます。

また、琵琶湖のヨシでつくられた名刺の印刷を承っております。琵琶湖のヨシ50%含有した名刺の場合、1枚で琵琶湖の水50リットルを浄化されたことになります。この名刺をお渡しされる時に、このことをちょっとお話しただくだけでも琵琶湖の環境保全についての意識が伝わることでしょう。

私どもではこのような地球にやさ



しく、それを使う人のことを考えた商品・サービスをご提案いたします。

■癒しの空間をご提供いたします。

昨年秋、店舗をリニューアルいたしました。和紙や和雑貨を豊富に品揃え、絵手紙や手づくりアルバムの体験コーナーを設けました。モノと情報が溢れ、毎日がめまぐるしく過ぎる現代の生活に、趣味と癒しの空間をご提供いたします。和紙の持つ風合や温もりを感じ、心を癒していただければ幸いです。生まれ変わった美濃屋紙店に是非お立ち寄りください。お待ち申し上げております。



お問い合わせ
美濃屋紙店（彦根市中央町4-41）
TEL: 0749-22-0712 FAX: 0749-22-0727
E-mail: info@e-bungu.biz

新規入会会員

2003年7月1日～12月31日

- (有)エフ・トランスポーテ
- (株)ディエスジャパン滋賀店
- ウッドワーク滋賀 堤木工所
- (株)メディアブレーン
- (有)ラウンド企画
- (株)田中電機商会
- (株)ヨシダヤ
- (有)ハートパーティーロジスティクス
- 学生環境グループ「水人」
- 三和精機（株）滋賀製作所

現会員数：368 (2003年12月31日現在)
(企業284、行政56、非営利団体28)

リレートーク

Relay Talk

「だから今、グリーン購入！」

長浜キヤノンのグリーン調達

長浜キヤノン（株）SA部
調達課 課長代理
廣部 徳久さん



長浜キヤノン（株）は、「共生」の理念のもとに地球環境保全活動を進めており、その一環としてグリーン調達に取り組んでいます。

キヤノングループは、1997年に『グローバルキヤノングリーン調達基準書』および『グローバルキヤノングリーン調達ガイドブック』をいち早く発行し、グリーン調達を推進してまいりました。

長浜キヤノンもISO14000の全身である『BS7750』を1995年に近畿で初めて取得し、環境保全活動を進めております。また、環境保証が出来なければ「作る資格がない」を環境保証基本方針として環境保証活動に取り組んでおります。

キヤノングループのグリーン調達は『グリーン調達基準書』に基づき、

「部品・材料」「購買品」の2つに分けて取り組んでおります。

【部品・材料のグリーン調達】は、取引先の「環境管理システム」の構築および運用と、その運用の結果として達成される「パフォーマンス」の2つの観点から、「事業活動」と「物品」に対し評価を致します。

この評価結果により、取り引きおよび調達の可否を判定いたします。2004年1月より新規取引に関して、また2005年1月より既存取引に関しても、この基準を満たすことが原則的に条件となります。

【購買品のグリーン調達】では、商品が環境に配慮されているかどうかをキヤノン独自の基準で判定し、基準を満たす商品を優先購入しております。

また、調査先であるお取引先様の迅速な報告や業務負荷軽減に配慮することなどを目的に、グリーン調達調査共通化協議会メンバー46社（キヤノン、ソニー、松下電器、NECなど）で決定された管理が必要な29物質を「使用禁止」「使用制限」「含有管理」の3種類に分け、調査・管理しております。調査フォーマット等は、協議会で共通のものを使用しています。

この基準は、国内のみならず北米・欧州の工業界でも基本的に合意されています。

次回は、びわこ銀行さんにお願いいたします。



会員発エコ商品情報



＜お問い合わせ＞(有)オーヤ企画
〒522-0054彦根市西今町542
TEL/FAX 0749-24-2855
Email info@08-09.com
URL http://www.08-09.com

雨水貯留樽(ガチャコンポンプ付)

(有)オーヤ企画

専門の職人の手で修理を繰り返し50年以上使用されるウイスキー樽は、良質なオーク材で造られています。産業廃棄物として処分されるのは勿体ないので『リサイ樽』として再利用しました。

『リサイ樽』の代表的な商品に「雨水貯留樽(ガチャコンポンプ付)」があります。手動の

ポンプを取り付け、電気やモーターを使わないで水を汲み上げる究極のエコ商品。懐かしいポンプで昔の文化を子供達に伝えることができるので、幼稚園や小学校の花壇の水やりにもお勧めです。湖国のエコライフに、おしゃれなガーデングッズとして、また緊急の防火用水にもご利用下さい。



＜お問い合わせ＞アイネットワーク
〒522-0047大津市本堅田4-8-14
TEL.077-522-7755 FAX.077-522-5387
Email aaa@io.con.ne.jp

びわクリン

アイネットワーク

「子どもたちにきれいな琵琶湖を残してあげたい。」「びわクリン」は、こんな想いから微生物的環境技術研究所（草津市）によって開発された商品です。

天然油脂（家庭廃油）と米ぬかなどを原料とし、汚れを分解する微生物を利用した、まさに人畜無害の石けんです。ティースプ

ーン1杯程度で脱臭、抗菌などの効果があり、下水の中でも微生物が汚れを分解し続けるため、家庭排水による琵琶湖の富栄養化を防止する効果があります。地球・自然・環境に正しく接するためにも、ぜひ一度お試し下さい。

編集・発行／滋賀グリーン購入ネットワーク事務局

〒520-0807

滋賀県大津市松本一丁目2番1号 大津合同庁舎6階
財団法人 淡海環境保全財団内

TEL.077-510-3585 FAX.077-510-3586

E-mail:sgpn@oregano.ocn.ne.jp URL: http://www.shigagpn.gr.jp/

デザイン／うらび企画 印刷／アイヌス株式会社
このニュースレターは、GPN-GL14「オフセット印刷サービス」発注ガイドラインに基づき作成しています。
用紙：古紙配合率100%、白色度70%「OKブランク上質エコG100」
(王子製紙) インクレベル2に該当する植物油由来量20%以上「
TKハイエコSOYシリーズ」(資源インキ)

